

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目																						
〔担当者〕 大矢 奈美					〔授業の方法〕 演習																							
〔演習テーマ〕 ライフサイクルにおけるリスクや非正規労働者に対するセーフティネットのあり方、外国人労働者への社会保障関連の支援など、社会保障・労働経済の分野に関する研究																												
〔演習内容〕 卒業論文執筆に向け、社会保障制度、高齢者雇用問題、外国人労働者の確保問題など、現在の日本の課題をあらためて考え、その後、各自の当該領域に関する問題意識にしたがって、論文執筆の指導をおこなう。 第 1 段階として、各受講生の興味関心にもとづき、ライフサイクルにおけるリスクとセーフティネット、日本人の働き方の問題といった、社会保障や労働経済の分野に関する文献リストの中から2つ程度選んで小レポートを作成する(4, 5 月、それぞれ1つずつ)。その過程で、卒業論文執筆にむけて各自の問題意識を探るとともに、必要な統計データや資料の収集・活用の方法、加工の仕方などを身につける。 第 2 段階として、各自が問題意識を絞り込みながら、論文作成のための文献収集やデータの収集をおこなう。その上で、論文の構成を考える。 最終段階として、論文を執筆する。 後半は論文執筆に取り掛かる。受講者数によるが、月に2～3回程度、研究の進捗状況について報告する機会が得られるように分担を決め、添削をしながら進めていく予定である。																												
〔科目の到達目標〕 自分自身の問題意識をもち、それに応えるための手段、手法を適切に使って論文を仕上げること。																												
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>								学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○	○	○	○	○	○	○
学部				学科																								
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																						
○	○	○	○	○	○	○																						
〔前提条件〕 労働経済学、社会保障論を履修していること、あるいは履修すること。この問題について関心があること。																												
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 春学期前半のレポートおよび、ディスカッションや報告の姿勢。卒業論文の完成度。																												
〔教科書等〕 受講生の問題関心にしたがって、「社会保障制度」、「雇用問題」、「ワークライフバランス」などをキーワードにした文献を選び、提示する。																												
〔実務経歴〕 なし																												
授業スケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>テーマと内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月～5 月</td> <td>時事問題について新聞記事や論文等を参照し、ディスカッションをおこなう。 レポートの提出(2 回)</td> </tr> </tbody> </table>								時期	テーマと内容	4 月～5 月	時事問題について新聞記事や論文等を参照し、ディスカッションをおこなう。 レポートの提出(2 回)																	
時期	テーマと内容																											
4 月～5 月	時事問題について新聞記事や論文等を参照し、ディスカッションをおこなう。 レポートの提出(2 回)																											

6月～7月	卒業論文で取り上げるテーマについての絞り込みと時事問題についてのディスカッション
夏休み	各自、設定したテーマに関する文献を読む
9月～10月	問題意識および論文の構成を固めるとともに、文献調査、実態調査を進める
11月～1月上旬	論文の執筆と、途中経過の報告、指導